

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール

第51回作品募集中!

課題
(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや
家族とのコミュニケーション、
お米・ごはん食についての思い出や
考えたことなどを素直な気持ちで
自由に表現して下さい。

「国消国産(こくしょうこくさん)」とは、自分たちが食べる食材は、できるだけ
自分たちの国でつくるという考え方です。詳しくは特設サイトからご覧いただけます。

国消国産
こくしょうこくさん

しめきり日 学校取りまとめ 8月26日(水) 学級担任の先生に提出してください。

応募資格 小学校および中学校に在籍する児童・生徒。特別支援学校の小学部・中学部に在籍する児童・生徒。

- 応募規格**
(枚数・大きさ)
- 【作文部門】**
- 1部 小学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙2枚以内、または「マス目の大きい様式用紙で800字以内」)
 - 2部 小学校4年生～6年生 (400字詰め原稿用紙3枚以内)
 - 3部 中学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙4枚以内)
- 【図画部門】**
- 1部 小学校1年生～3年生 (83判、もしくは四つ切りの市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。)
 - 2部 小学校4年生～6年生
 - 3部 中学校1年生～3年生

賞	
内閣総理大臣賞	作文・図画部門各1名……………計2名
文部科学大臣賞	各部門各部門ごとに1名……………計6名
農林水産大臣賞	各部門各部門ごとに1名……………計6名
全国農業協同組合中央会会長賞	各部門各部門ごとに1名……………計6名
優秀賞	各部門各部門ごとに15名……………計90名
学校奨励賞	内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣各賞受賞者所属校……計14校

※各部門には審査基準がありますので、詳細については上記お問い合わせ先までご連絡下さい。

主催：農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会／全国農業協同組合中央会
 後援：文部科学省／農林水産省／子ども家庭庁／全国都道府県教育委員会連合会／全国市町村教育委員会連合会／日本放送協会(NHK)／全国連合小学校長会／
 全日本中学校長会／(公社)全国学校図書館協議会／(公社)日本PTA全国協議会／(公社)米穀安定供給確保支援機構
 協賛：全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合連合会／農林中央金庫／(一社)家の光協会／
 (株)日本農業新聞／全国厚生農業協同組合連合会／(一社)全国農協観光協会

耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

本コンクールは、みんなのよい食プロジェクトの一環として取り組んでいる事業です。過去の受賞作品は、JAグループHPからご覧いただけます。



「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することをつうじて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食の重要性を広く周知するために開催しています。



笑顔ちゃん みんなのよい食プロジェクト

＜過去の受賞作品＞ JAグループHP(<https://life.ja-group.jp/education/contest/>)でもご覧いただけます。

※学年は受賞当時のものです。

図画部門

第48回内閣総理大臣賞



「力いっぱい炊きあがれ」

埼玉県 狭山市立山王小学校6年
津久戸 花実さん

第49回内閣総理大臣賞



「おこめのさと」

京都府 木津川市立恭仁小学校1年
山岡 彩葉さん

第50回内閣総理大臣賞



「心をこめて大きくな〜れ!!」

広島県安芸高田市立美土里小学校2年
石川 夢弓さん

作文部門

第50回内閣総理大臣賞

「ただいま、おばあちゃん。」
僕は足踏みを利用して、遠方で一人暮らしをする祖母に会いに行つた。
久しぶりにお会いした祖母は、「おねえ、遠くから来てくれてありがたう。」と微笑んで迎えてくれたが、何となく元気がないように感じた。僕は思わず、「おばあちゃん、体調どう？」と聞いてみた。
「大丈夫だよ。元来から足腰は弱いけど。」
と、祖母は笑いながら答えた。
そんな祖母を見て、僕は何か手伝うことではないかと聞いてみた。すると、「ありがたう。大した大した、ご飯がでるまで別の部屋で休んでいて。」と祖母は言った。僕は、一度別の部屋へ行ったが、祖母が気になり、すぐに祖母がいる台所へ戻った。祖母の傍で、せかせかと動き回っている祖母を見て、僕は、「おねえ、休んで。」と、こづいてみた。
「えっ、お米とげるの？」
と、祖母はびっくりした様子だったが、僕が母から特別を受け、炊飯器をセッティングするように促したことを話すと、納得してくれた。
早速僕は、米びつがある納戸へ行く。米びつの隣に大きな米袋があるのを見て、僕は、その袋を開けてみると、中には米が入っていた。僕は、見慣れない米袋を思わず両手でぐぐつてしまった。手の中の米は、小粒が混じっている。僕はお米を持って台所へ戻った。僕は、米びつの中の米を袋から取り出し、米びつの隣にあるお米の袋を開けた。
「あれは宝物だよ。」
と僕に笑った。僕は、「宝物」の意味が分からず不思議に思い、詳しく聞いてみると、それは一年前に祖母が亡くなった年の年に収穫した、最後の米だった。祖母は農業家で、会社を定年退職した後は、少しだけ米を作っていた。しかし、その年は台風が直撃し、全ての稲が倒れ、水に浸かって全滅してしまったらしい。祖母の心は、僕の想像より遥かに辛かったと思う。通常、一度倒れた稲は、処分してしまうらしいが、祖母は諦めきれず、倒れた稲をできる限り取り出して、収穫した。祖母は、この米を「宝物」として、大切に保管していた。僕も、この米を大切に保管していた。祖母の心は、僕の想像より遥かに辛かったと思う。通常、一度倒れた稲は、処分してしまうらしいが、祖母は諦めきれず、倒れた稲をできる限り取り出して、収穫した。祖母は、この米を「宝物」として、大切に保管していた。僕も、この米を大切に保管していた。
「宝物のお米で、元気がなくなつてはほしくない。」
僕がそう言うと、祖母はニコリと笑った。
僕は早速、宝物を新聞紙の上に広げ、祖母と一緒にゴミを取り除いた。細かい石などが混じっていて、とても面倒な作業だったが、祖母との会話は弾み、楽しかった。
「おねえ、炊き上がりを知らせる音を聞き、祖母と一緒に炊飯器の蓋を開けると、湯気がホワホワと上がり、美味しそうな香りが漂ってくる。僕は炊き立てのご飯に、祖母が用意してくれた、梅干しや昆布を詰め込んで、おにぎりを握った。不格好なおにぎりがいくつもできた。それを見た祖母は、「美味しそうだね。ありがたう。」と、こづいてくれた。食卓に並べた。祖母がおにぎりを一口食べた時、僕の顔の中におじいちゃんの写真が浮かんだ。そして、祖母が少しだけ元気がなくなったような気がした。

「おばあちゃんの宝物」

三重県学校法人三重高等学校三重中学校3年
大西 真廉さん

応募総数

第50回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール

作文部門: 26,972点 図画部門: 39,170点

第51回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 全国審査会／表彰式日程

【全国審査会】

図画本審査会: 2026年11月12日(木)
作文本審査会: 2026年11月17日(火)
会場: JAビル(東京・大手町)

【表彰式】

日時: 2027年1月9日(土)
会場: JA共済ビル カンファレンスホール



審査基準について

審査にあたっては、次の基準に従いますので、応募の際にはご注意ください。

作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。

作文部門審査基準

“上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。

1. 課題に沿った作品であること。
2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること（子どもはよく難しい言葉を使いたがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない）。
3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を率直に述べていること。
4. 自分の生活経験がにじみ出ていること（抽象的、一般的なことのみに終始するものは好ましくない）。
5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。
6. 規定の枚数であること。
7. 誤字・脱字・添削跡などがなく、その他の表記（かぎカッコや句読点など）も正確であること（必要に応じて本人に差し戻し、消書してください）。
8. 作文用紙は必ず1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名・学年・氏名、3行目から本文を書き出すこと（学校名・学年・氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出す）。

図画部門審査基準

<主題のとらえ方について>

1. 子どもらしい発想を尊重すること。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアがあるものがよい。
2. 理解させるためディスカッションすること。
3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

<基準について>

(次のようなものは審査の対象外になります)

1. ごはんおよびお米を主題としていないもの。
2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの（擬人化したもの）、および実在しないもの（空想やファンタジー性のあるもの）。
6. 石、木片、綿などを貼りつけたもの。
※ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。
また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。
7. 紙の寸法が極端に大きいもの、または小さいもの。
8. 紙がボール紙のように厚いもの、または半紙のように薄いもの。
9. 台紙に貼って応募したもの。
10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、および宣伝になる恐れがあるもの。
11. パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。
12. 道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの。

※㊦トラクターの乗車定員オーバー（2人乗り）、乗車装置でない荷台に乗った姿が描かれたものなど。

応募票について

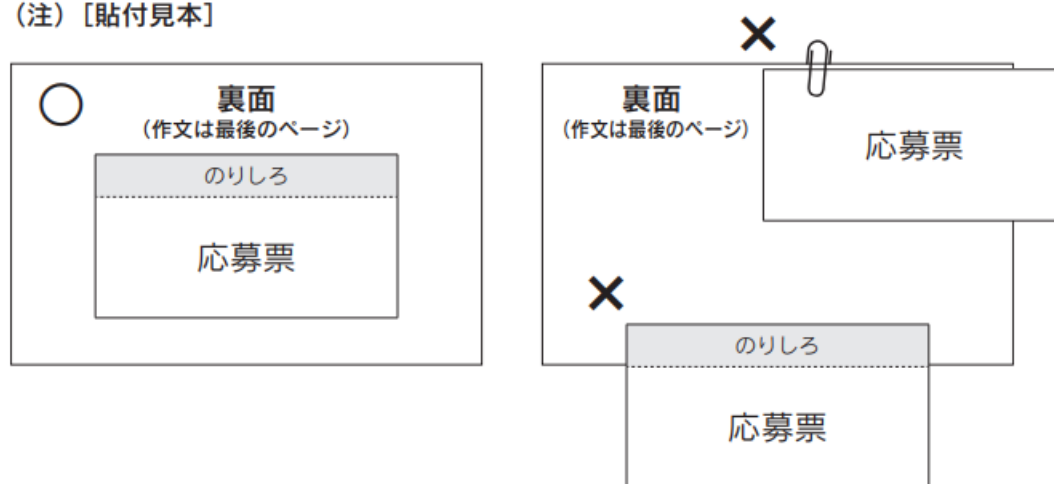
◇作文

- (ア) 応募票は、最終ページの裏面中央に、のり付けしてください（P7〔貼付見本〕参照）。
- (イ) 作品は、開いた状態で右上をホチキスでしっかりとめてください。（クリップ止め不可）

◇図画

- (ア) 応募票は、裏面中央にのり付けしてください（P7〔貼付見本〕参照）。
- (イ) 作品の送付の際は、丸めないでください。

（注）〔貼付見本〕



点線部分で切り取り使ってください。

個人作品添付用応募票

作品番号	都道府県コード 11	作品番号（記入しない）	部門 作文・図画
フリガナ			
作品の題名			
フリガナ			
氏 名			
フリガナ	ミヤマエ ショウガッコウ		学 年
学校名	宮前 小学校		年 組
学校所在地	さいたま市 西区宮前町341		
電話番号	048 (623) 8121		
当該JA名			